

第 236 回「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

温かい大きな愛 ～ 力づけられる ～

2024 年 2 月 7 日、『ひばりヶ丘駅―>池袋駅―>横浜駅―(京急本線)―>三浦海岸駅』から神奈川県『聖母訪問会 三浦修道院』に赴いた。筆者の従姉妹が在住の『金沢文庫駅』を通過した。正月の新年会には wife と訪問していたものである。

また、マシュー・カルブレイス・ペリー (Matthew Calbraith Perry : 1794-1858) の 2 回の日本の来航(浦賀・久里浜、横須賀)(1853 年、1854 年)が今回鮮明に思い出された。まさに 170 周年記念である。

『三浦修道院』では、スタッフ 9 名と昼食し、その後、懇談会を持った。大変有意義な充実した貴重な時となった。筆者の本も持参され、サインを依頼された。感激した。『ここに みことばの 処方箋』(いのちのことば社 2015 年発行、重版となり 2019 年 5 刷)(画像)を用いて、読書会を定期的になされているようである。大いに感動した。終わりに全員の写真を【東チモールから来日されている『カルメリンダ』】様が撮って頂いた。感謝である。

今回、今年(2024 年)10 月 26 日に【『がん哲学外来 メディカル in 三浦海岸』5 周年記念市民公開シンポジウム】の開催が決定された。皆様の『速効性と英断』には、ただただ感服した。

早速、『がん哲学外来 メディカル in 三浦海岸』企画担当者：西田靖子シスターから、【樋野興夫先生 きょうは 先生のあたたかい大きな愛に触れさせていただき、本当にありがとうございました。スタッフ全員の先生に対する信頼の心によって このような時を企画し実現いたしました。先生から発せられる言葉によって、力づけられ再出発いたします。】との心温まる励ましのメールが届いた。

『三浦修道院は広い敷地で、大きな部屋』もあり『広々とした三浦海岸』も眺められるので、小学生が 1 泊の機会があれば、マザー・テレサ (Mother Teresa, 1910-1997; 1979 年ノーベル平和賞受賞) の学びの時ともなろう。

こころに
みことばの
処方箋

Bible Prescriptions for Your Heart



あなたは病気であっても
「病人」ではない。

順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授
一般社団法人がん哲学外来理事長

樋野興夫
Okio Hino

——世界に広がる「がん哲学」

いのちのことば社 本体 1,000 円 + 税